

1 章 かんが 考えてみよう ゆうじん こいびと 友人・恋人とのコミュニケーション

マンガ ケース1 いつもどおりにメッセージを送ったつもりだったのに 4

みんなであらえよう! 自分が同じグループにいたらどうする? 6

★もっと知りたい!!★ コミュニケーションにおけるマナー 8

ケース2 たった1回拡散しただけなのに 10

▼やってみよう!▼ 悪口を書きこみそうになったら 13

ケース3 ふざけて写真を投稿したら 14

★もっと知りたい!!★ もしもトラブルに巻きこまれてしまったら 17

マンガ ケース4 「友だち」に会いたかっただけなのに 18

みんなであらえよう! SNSで知り合った人に会いたいと言われたらどうする? 20

マンガ ケース5 恋人だけに送った写真だったのに 22

みんなであらえよう! どうしたらトラブルに巻きこまれずにすむ? 24



2 章 みなお 見直してみよう かぞく 家族とのルール

マンガ ケース1 スマホを自由に使いたいただけなのに 26

みんなであらえよう! どうしたらケンカにならずにすむ? 28

▼やってみよう!▼ スマホのルール表をつくろう 30



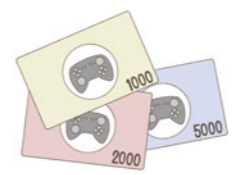
ケース2 ゲームで強くなりたかっただけなのに 32

★もっと知りたい!!★ 課金以外にも気をつけたいゲームのトラブル 35

★もっと知りたい!!★ 有害サイトに気をつけよう 36

問い合わせ先一覧 38

さくいん 39



※本書の内容は、制作時点(2023年11月)のものであり、今後変更が生じる可能性があります。

はじめに



テレワーク、キャッシュレス決済、ネット通販……。私たちの生活は、ネットのおかげでずいぶん便利になりました。また内閣府によると、2歳児の6割以上がネットを利用し、政府のGIGAスクール構想で、小学校1年生から学校で情報端末を利用しています。

これらを見ても私たちの社会が、ネットの利用に大きく舵を切ったことがわかります。以前は、「子どもたちを危険なネット社会から守る」ことに大人は一生懸命でした。基本スタンスは「制限・禁止」です。それがここにきて、方針が「利活用」に大きく変わったため、多くの大人は戸惑っています。

そういう時期に刊行される本書の役割は大きいです。しかも本書には、「スマホマインド」が貫かれています。この言葉には「スマホを賢く使いこなすための心得」という意味がこめられています。そして、賢く使いこなすためのヒントが随所にちりばめられています。

とはいえ、私たちの社会はまだ、子どもたちが安心してネットを使える環境をつくることができていません。ネットいじめ、ネットでの危険な出会い、ネット炎上、ネットの長時間利用……。マスコミには連日、この種の話題があふれています。

本書には、そうしたトラブルに巻きこまれないためのポイント、心得がしっかりと書かれています。実話をもとに構成されているので、地に足のついた内容です。

十代の皆さんは、これからさらに進んだ高度情報化社会を生き抜いていかなければなりません。本書は、今あるトラブルについてはいい対応していますが、これから皆さんが経験する社会では、今の私たちには想像がつかないくらい新しいことが起きるはずですが、形が変わっても、起きることの根本は同じです。

そういう意味でも、本書をただ漫然と読むだけでなく、自分ならどうする、どういうことに気をつけたらよいか、「自分ごと」として、自問自答をくり返しながらかよぶとスマホの「リスク」から自分を守るのに、より一層効果的です。

りょうごけんりつだいがくかんきょうにんげんがくぶがくせい たいけうちがず お 兵庫県立大学環境人間学部教授 竹内和雄

みんな
で
考えよう!

どうしたらトラブルに 巻きこまれずにすむ?



ハルト

しょうじき 正直、こういうトラブルって男子のぼくにはあまり関係ない気がする。

わたし おとことも に ひが い だんし
私の男友だちも似たような被害にあったって言ってたから、男子でも危険だよ。そのときは、しつこく連絡がきたから、着信拒否をしたり、コミュニケーションアプリをブロックしたりしたんだって。



コハル



ケンセイ

あいて しゃしん も エスエヌエス たにん
相手は写真を持っているから、SNSにのせられたら怖い。他人に見られたら困る写真とかメッセージとかは送らないようにするしかないんじゃないかな。

ケンセイくんの言うとおりでと思う。写真を送るように言われたら、はっきりといやだって断るのがいちばん。それで「写真を送らなきゃ別れる」とか言う人だったら別れるほうがいい。



リコ

ココロンからのアドバイス

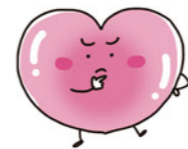


しつこく連絡が来るときに着信拒否やコミュニケーションアプリの機能でブロックをしても、ほかのアカウントや別のスマホから連絡してくることもあるし、本当に写真をSNSにのせられてしまうかもしれない。ケンセイくんやリコさんが言うように、他人に見られたら困る写真やメッセージを送らないのがいちばん。こういうトラブルは男の子でも起こるよ。だれでも被害者になる可能性があるんだ。相手が同性の友だちであっても、人に見られて困る写真やメッセージは送らないのがいちばんだよ。

こんなことに気をつけよう

他人に見られて 困るものは送らない

大好きな恋人や親しい友だちに言われても、ほかの人に見られたら困る写真や動画は送らないようにしましょう。メッセージも人に見られて、はずかしいと思うものは送るべきではありません。一度だれかに送ってしまうと、見ず知らずの人にコピーされ、その人のスマホに残り続けるおそれがあります。「ぼく(私)のことが好きだったら送ってよ」「ほかのだれにも見せないから」と言われても、「だれにも送らないと決めているからごめん」と断るようにしましょう。



ネット上でやりとりした写真やメッセージは見ず知らずの人にも見られてしまう可能性があるよ。「家の玄関には入れないような写真やメッセージは送らない」という意識をもとう。

おかしいなと思ったら大人に相談

断わっても写真を送るようにしつこく要求してきたら、保護者に相談しましょう。がまんしているうちに、相手の行動がエスカレートすることがあります。「別れるなら殺す」など、おどすようなメッセージが届き、身の危険を感じたら、すぐ警察や相談窓口で連絡しましょう。「警察に連絡をする」と伝えることで、相手の行動がおさまることもあります。



相手に気持ちを 押しつけていないか考えて

あなた自身も友だちや恋人に「写真や動画を送って」「すぐに返信して」と気持ちを押しつけていることがないか、ふり返ってみましょう。いくら親しい相手でも、あなたとは別の人間です。相手には相手の考えや、生活リズムがあることを忘れず、礼儀をもって接するようにしましょう。





ゲームで強くなりたかった だけなのに

リョウさん（中学2年）の家ではネットゲームに課金してはいけないルールになっています。友だちが有料のアイテムを買って、強くなっているのがリョウさんはうらやましくて、しかたありませんでした。

ある日、リョウさんはお父さんに新しい有料のゲームアプリをダウンロードしてもらいました。ゲームをしている途中でリョウさんが有料のアイテムの購入ボタンを押すと、アイテムを買うことができました。



じつは、ゲームアプリをダウンロードしたときに登録した、お父さんのクレジットカードの情報がスマホに保存されたままになっていたのです。「チャンス!」と思ったリョウさんはつぎつぎに有料のアイテムを購入しました。すると、アプリの課金額は合計で10万円にもなりました。後日、請求書を見たお父さんとお母さんはカンカン。リョウさんはスマホをとり上げられてしまいました。



ゲームで課金アイテムを購入することは、お店で買いものをするのと同じこと。保護者にだまってアイテムを買わないようにしましょう。どうしても課金がやめられない場合は、保護者と話し合っ、次のページの対策をとってみよう。

こんなことに気をつけよう

カード情報を残しておかない

保護者のクレジットカードの情報がスマホに保存されたままになっていると、いつでもボタンを押すだけで、課金できてしまいます。「勝手に課金はしない」と保護者と約束していても、ゲームに夢中になっていると、ついつい課金してしまいたくなるものです。保護者のクレジットカードの情報がスマホに残らないようにしましょう。



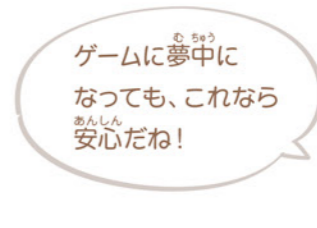
いつでも課金できちゃうと、「少しくらいなら」と思っ、こっそり使っちゃう。課金できない状態にしているほうが安心だな。

課金できない設定にする

課金のしすぎを防ぐために、保護者に課金できない設定してもらいのもひとつの方法です。スマホのパスワードは保護者に管理してもらい、どうしてもほしいアイテムがあったときだけ相談して、課金させてもらうようにしましょう。



パスワードも親が管理してくれたら、勝手に課金はできないね!



ゲームに夢中になっても、これなら安心だね!